



図書日和

2019年9月号
鹿児島中央高等学校図書館
令和元年9月19日発行

9月半ばを過ぎて、朝夕は秋らしさを感じられるようになりました。この季節は、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋などと表現されて、様々なことにチャレンジしたり、落ち着いて勉強や読書に取り組める時期です。この秋を楽しめるような本や図書展示コーナーなどを紹介しますので、本選びの参考にしましょう。

私が薦める一冊の本

芸術科 立石智浩 先生

『異邦人』

カミュ 著

新潮社

高校生の頃に、国語の先生から「今は何度読んでも心情が理解できない作品も、年を経るにつれて、いつの日か“ハッ”と気づいて理解する。」と授業のテスト解説が何かで教わった。小説や国語にはそんな魅力があると云われて、“本を読み返す”ということの面白さを教えてもらった。ちなみにその先生は“氷点”という作品を例にして教えてくれた。

カミュの「異邦人」という作品がそれにあたる。短い作品で1週間もあれば読み終えることができるような長さの作品。高校生の頃に読んでいて、物語の最後で、昇る日の光から何かを感じ取った主人公が人々に糾弾され罵倒されることを望んだのかがよくわからなかった。それから何年も過ぎて大人になった時にもう一度読んでみると主人公の気持ちや望みがよくわかって理解することができたのをはっきりと覚えている。

この「異邦人」という作品に限らず、模試に出てくる小説の続きや流行の本を読むなかで、このような体験をしたときに大人になっていくと実感していったほしい。

<ラベル表示>



<バーコード番号>

010334282



なんと

秋季休業前の特別貸出期間中は、10冊も借りられます！

受験対策にも役立つ図書館！？

3年生は、大学入試センター出願の時期を迎えて、受験モードも高まり、少し緊張感もあるのではないのでしょうか。そういう時にこそ、一冊の本が受験勉強中の心を和ませ、背中を押してくれることもあるので、ぜひ図書館での本選びを楽しんでほしいところです。中には、夏休み頃から、志望理由書の書き方や小論文の学習のために、図書館の小論文コーナーで関連本を活用し役立っている人もいます。また、小論文や面接対策のために読書する人も増えてきました。この特別貸出期間中に、たくさん借りた中から、受験に役立つ本と出会うことがあるかもしれません。あらゆる分野の情報収集を行いながら、読み、考え、書く力をつけていってほしいです。

★こんな本がおすすめ！

『教授だから知っている大学入試のトリセツ』『600字で書く文章表現法'20年度版』

★まもなく届きます！

『新小論文ノート 2020』『受験と進学の新常識』

貸出日 9月19日(木)

9月20日(金)

9月24日(火)

貸出冊数 10冊まで

返却日 10月2日(水)



7・8月貸出統計

合計 477冊

学年	1年								2年								3年							
	組	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
貸出数	17	15	21	29	70	14	20	31	5	27	0	28	2	21	21	0	10	11	13	21	20	42	25	14
合計	217								104								156							

もっと読書を!

不読者ゼロに!

読書週間 10月27日(日)～11月9日(土) 標語「おかえり、葉の場所で待ってるよ」

「レファレンスサービス」を使いましょう!

所蔵調査 …… 「〇〇という本は、図書館にありますか。」 「この本がある場所はどこですか。」 など、資料の所蔵や所在に関することを調査してもらうこと。

事項調査 …… 「〇〇について調べたいのですが、調べる方法を知りたいです。」 「〇〇という事柄について知りたいです。」 など、調べる方法や知りたい事柄を調査してもらうこと。

学校図書館のレファレンスサービスは、図書館にある情報源を使って、主にこの2つの調査をしています。他にも、雑誌記事や新聞記事の探し方、県立・市立・大学図書館などの資料利用や、各種データベースサービス提供館の利用方法を知ることでもできるので、資料探しにぜひ活用してほしい業務です。いつでも気軽に声をかけてください。レファレンスサービスは、他の図書館などでも同じように使うことができます。

<質問例>人口減少に関する内容と関連の統計が載っている本ありますか。

<質問例>看護政策についての動向を知りたいです。何を見ればいいですか。

展示「芸術を読もう！」

芸術の世界を小説やエッセイで楽しめる本を展示しています。この秋、読んでみましょう。

- 『楽園のカンヴァス』 原田マハ 著/新潮社
 - 『肖像彫刻家』 篠田節子 著/新潮社
 - 『ミライミライ』 古田日出男 著/新潮社
 - 『聖夜』 佐藤多佳子 著/文藝春秋
 - 『蜜蜂と遠雷』 恩田陸 著/幻冬舎
 - 『常設展示室』 原田マハ 著/新潮社
 - 『夢をかなえたピアノ講師ゼロからの180日』 藤拓弘 著/音楽之友社
 - 『レオナルド・ダ・ヴィンチ 上・下巻』 ウォルター アイザックソン 著/文藝春秋 他
- 印は、新着書

災害を知る、防災を考える!!

9月は、防災月間です。災害への準備・発生時の対応などの内容の図書を紹介します。

- ぜひ手に取って、学んで、“万が一”に備えましょう!
- 『“今”からできる! 日常防災』 永田宏和 監修
 - 『イザというとき、命を守るために!』 青木信之 著
 - 『災害と情報 あのとき何が伝わったか』 徳田雄洋 著
 - 『大災害と子どもの心』 富永良喜 著
 - 『人はなぜ逃げおくれるのか』 広瀬弘忠 著
 - 『切抜き速報 科学と環境版』 災害特集, KEIZOKU 地球・地震
 - 『切抜き速報 健康りてらしい』 災害特集, 災害と健康 他
- 印は、新着書

図書委員会からお知らせ

「教科書に載っている本たち」というミニ展示を行っています!

現代国語や古典の教科書に掲載されている評論、小説、古典文学などから、図書館に所蔵している作品や関連図書を紹介します。授業で出てくる作品の気になる続きを読んでみませんか。

立石先生のお勧めの一冊『異邦人』は、図書館カウンターに置いて紹介していますので、読んでください。

現在、これまでの「図書日和」で先生方が紹介して下さった本も展示しています。また、新着書もたくさん入っていますので、秋季休業中には、読書の好きな人も、これまでほとんど読書していない人も、いろいろな分野の読書にチャレンジしてみましよう。